

3-1-1 計画確認書

耐震改修、シェルター用

申請者		受付番号	- -
設計者 または 施工者	会社名 担当者	連絡先	電話 FAX

確認項目	設計者 自主検査	検査員 判定
*設計者自主検査欄【適合：○、該当なし：／】 *検査員判定欄【適合：○、不適合：×、該当なし：／】		
1. 事業計画書		
(1) 設計者・施工者（施工者等）の要件を満たしているか		
(2) 以下の2.～8.の内容と整合しており、未・誤記入がないか		
2. 見積書（写し）		
(1) 見積書の書式及び補助対象・補助対象外の区分は適切か		
(2) 見積書における工事内容（工法、材種・数量・部材寸法等）は図面等と整合しているか		
(3) 見積書の内容（金額等）は妥当か *金額の大きい項目は特に注意		
3. 現況写真		
(1) 住宅の全景及び補助対象工事部分の写真は添付されているか		
(2) 撮影箇所が判別できるか（平面図を利用し写真撮影箇所等を記入）		
4. 耐震診断報告書（写し）と改修計算書（=Wec等及びエクセル版）		
(1) 促進（又は促進技術）委員会長の押印がある耐震診断報告書（写し）が添付されているか		
(2) 改修計算書は設計時に判明した事項が適切に反映されているか		
(3) 改修計算書は妥当な劣化事象改善方法、接合部仕様及び基礎の仕様を踏まえているか		
(4) 改修計算書は図面等と整合しているか		
(5) 事業計画書における診断時及び改修時の評点の記載が適切か		
5. 図面		
(1) 敷地内の全建物の配置が分かる配置図、各階現況平面図、改修平面図等必要な図面等が添付されているか		
(2) 各工事内容（耐震化工事・リフォーム工事・劣化改善工事・家具固定等）が改修平面図等に適切に示されているか		
(3) 補強壁仕様等（詳細図を含む）は適切に示されているか		
6. 増築がある場合、適切に処理され、また、その工事費は補助対象外か		
7. 耐震シェルター等の場合、必要な基準を満たしているか		
8. 感震ブレーカー・スマート化工事の資料が添付されているか		
設置予定スマート化設備名		

指摘事項	手直し結果

長 殿

計画段階での工事内容等が適切であることを確認しました。

検査着手日：令和 年 月 日 耐震化工事検査員 登録番号
検査完了日：令和 年 月 日 氏 名 印

3-2 中間確認書

耐震改修、シェルター用

申請者		受付番号	-	-
施工者	会社名	担当者	連絡先	

確認項目 * 施工者自主検査欄【適合：○、未施工部分：未、該当なし：／】 * 検査員確認方法欄【該当する確認方法にレ】 * 検査員判定欄【適合：○、不適合：×、未施工部分：未、該当なし：／】	施工者 自主検査	検査員			判定
		確認方法（レ）			
		目視	書類	聴取	
* 中間検査用の「検査対象部分図」を用意しているか					
1. 基礎					
(1) 基礎の補強方式・補強範囲等は適切か					
(2) あと施工アンカーの打ち込み位置等は適切か					
(3) 配筋状況（主筋・補強筋位置・種類・径・ピッチ、かぶり厚、継ぎ手・定着長さ等）は適切か					
(4) ホールドダウン・アンカーボルトの種類・設置は適切か					
2. 耐力壁					
全体	(1) 設計時の既存壁の評価は適切か				
	(2) 各種材料の種類、寸法等は適切か				
筋交い	(3) 既存・新設筋交いの寸法・本数・位置、金物用ビスの種類等は適切か				
	(4) 筋交いを切り欠いていないか				
	(5) 筋交いと面材の受け材が絡む場合、筋かい優先か				
面材	(6) 面材や接合具の種類は適切か				
	(7) 面材の張り方（釘の種類・ピッチ・釘と部材の縁端距離）、受け材の取り付け方は適切か				
既存部	(8) 耐力壁内の既存の横架材の継手の補強は適切か				
	(9) 既存の柱-横架材の接合状況は適切か（腐食等の有無を含む）				
接合金物	(10) 金物の種類・設置状況は適切か				
	(11) 金物や部材が集中している場合、納まりは適切か				
	(12) 構造部材を切り欠いて金物を取り付けるなど、不適切な施工となっていないか				
3. 屋根の改修工事は適切か					
4. 劣化事象の改善等は適切に行われているか					
5. 耐震シェルター等の場合、必要な基準を満たしているか					
6. 変更した場合の計算書・図面等は用意されているか					

指摘事項	手直し結果

長 殿

中間段階での工事内容等が適切であることを確認しました。

検査着手日：令和 年 月 日 耐震化工事検査員 登録番号
 検査完了日：令和 年 月 日 氏 名

印

3-3-1 完了確認書

耐震改修、シェルター用

申請者		受付番号	-	-
施工者	会社名	担当者	連絡先	

確認項目 *施工者自主検査欄【適合：○、該当なし：／】 *検査員確認方法欄【該当する確認方法にレ】 *検査員判定欄【適合：○、不適合：×、該当なし：／】	施工者 自主検査	検査員			判定
		確認方法（レ）			
		目視	書類	聴取	
1. 基礎					
(1) 基礎の補強方式・補強範囲等は適切か					
(2) あと施工アンカーの打ち込み位置は適切か					
(3) 配筋状況（主筋・補強筋位置・種類・径・ピッチ、かぶり厚、継ぎ手・定着長さ等）は適切か					
(4) ホールダウン・アンカーボルトの種類・設置は適切か					
2. 耐力壁					
全体	(1) 設計時の既存壁の評価は適切か				
	(2) 各種材料の種類、寸法等は適切か				
筋交い	(3) 既存・新設筋交いの寸法・本数・位置、金物用ビスの種類等は適切か				
	(4) 筋交いを切り欠いていないか				
	(5) 筋交いと面材の受け材が絡む場合、筋かい優先か				
面材	(6) 面材や接合具の種類は適切か				
	(7) 面材の張り方（釘の種類・ピッチ・釘と部材の縁端距離）、受け材の取り付け方は適切か				
既存部	(8) 耐力壁内の既存の横架材の継手の補強は適切か				
	(9) 既存の柱-横架材の接合状況は適切か（腐食等の有無を含む）				
接合金物	(10) 金物の種類・設置状況は適切か				
	(11) 金物や部材が集中している場合、納まりは適切か				
	(12) 構造部材を切り欠いて金物を取り付けるなど、不適切な施工となっていないか				
3. 屋根の改修工事は適切か					
4. 劣化事象の改善等は適切に行われているか					
5. 耐震シェルター等の場合、必要な基準を満たしているか					
6. 感震ブレーカー（分電盤タイプ）が設置されているか					
7. スマート化工事は適切に行われているか					
設置スマート化設備名(変更の場合)					
8. 工事個所の施工前・中・後の写真（工事写真集）					
(1) 住宅の全景写真及び耐震化・スマート化・劣化事象改善・家具固定の各工事の写真が添付されているか					
(2) 撮影場所が判別できるか（撮影箇所等の記入）					
9. 変更に関する見積書・計算書・図面は適切か（再検査）					

指摘事項	手直し結果	変更後評点		
		総費用 (様式第9号)	耐震化	万円
			スマート化	万円

長 殿

完了段階での工事内容等が適切であることを確認しました。

検査着手日：令和 年 月 日 耐震化工事検査員 登録番号

検査完了日：令和 年 月 日 氏 名

印

■補強計画聴き取りチェックシート

担当診断員	氏名	印	登録番号
補強計画申込者	氏名		受付番号 — —
聴き取り等を行った事項	<p>・注意 ①最初に、耐震診断結果を振り返ったうえで聴き取りを行うこと ②該当する□にレ点を付けること ③（ ）内は必要事項を記入すること</p> <p>◆申込者が現在リフォームを考えているところ</p> <p><input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 洗面室・浴室 <input type="checkbox"/> トイレ</p> <p><input type="checkbox"/> () の部屋</p> <p><input type="checkbox"/> 特に考えていない</p> <p>◆補強箇所（外部か内部か）に関する要望等</p> <p><input type="checkbox"/> 主に外部から補強をしてほしい</p> <p><input type="checkbox"/> 主に内部から補強をしてほしい</p> <p><input type="checkbox"/> どちらでもよい・診断員に一任する</p> <p>◆内部からの補強の場合－補強室・部位等に関する要望等</p> <p><input type="checkbox"/> () の補強は止めてほしい</p> <p><input type="checkbox"/> () の補強は可能なら止めてほしい</p> <p><input type="checkbox"/> () は優先して補強対象としてほしい</p> <p><input type="checkbox"/> 特にない・診断員に一任する</p> <p>◆補強の程度に関する要望等</p> <p><input type="checkbox"/> できるだけ地震に強くしてほしい（評点1.5以上など）</p> <p><input type="checkbox"/> 最低限の補強をしてほしい（評点1.0以上）</p> <p><input type="checkbox"/> 特にない・診断員に一任する</p> <p>◆聴き取り結果に対する対応等 （診断員は、必ず伝え、<input checked="checked" type="checkbox"/>とする）</p> <p><input type="checkbox"/> 今後作成する補強計画では、目標とする評点向上のために要望等に応えられない場合もあるが了解してほしい旨を申込者に伝えた</p> <hr/> <p>（その他：診断員が重要と考えた事項等を自由に記入）</p>		

耐震シェルター設置に関する基準

耐震シェルター設置支援事業における耐震シェルターの設置に関する基準は以下のとおりとする。

1. 認定を受けた内容と整合している計画内容及び工事内容であること
ただし、安全側と考えられる軽微な変更は認める
2. 別紙「耐震シェルター・管理チェックシート（以下「チェックシート」という）」に基づき、適切に耐震シェルターの設置ができていることを担当の工事検査員に確認してもらうこと
 - ①計画検査においては、チェックシートの「計画検査」欄までの欄に必要事項等を記入し、その写しを検査員に提出してその内容を確認してもらう
 - ②中間検査においては、チェックシートの「中間検査」欄までの欄に必要事項等を記入し、その写しを検査員に提出してその内容を確認してもらう
 - ③完了検査においては、チェックシートすべての欄に必要事項等を記入し、検査員に提出する
(注) 検査員は完了確認書に当該チェックシートを添付して市町村に送付する
3. その他、個別の耐震シェルター設置工事に関する検討事項については、木造住宅耐震化促進委員会の承認を得ること

耐震シェルター・管理チェックシート

申請者		製品 発注先	左記の施工者が施行することを認める。 氏名 印
施工者	会社名 担当者		
メーカー名		県 登録番号	

検査時期	確認事項	施工者 自主検査
	＊確認事項欄（下）【□内は該当する項目にレ、（ ）内には数値等を記入】 ＊施工者自主検査欄（右）【適合：○、該当なし：／、未：未施工】	
計画検査	1. 標準図が添付されているか（平面図・立面図・断面図・詳細図・基礎図等）	
	2. 設置する居室の大きさ（ ）mm×（ ）mm×（ ）mm	
	3. 施工スペースは十分確保できているか	
	4. 認定内容と異なる場合、安全側の変更か ：主な変更点（ ）	
中間検査	1. 基礎等の仕様は適切か □布基礎新設 □土間コンクリート敷設：厚さ（ ）mm □その他（ ）	
	2. 床パネルの取付は適切か：釘ピッチ（ ）mm、釘の種類（ ）	
	3. 隅柱及び管柱の立込みは適切か	
	4. 壁パネルの取付は適切か：釘ピッチ（ ）mm、釘の種類（ ）	
	5. 土台及び梁ともホールダウン金物の取付は適切か	
	6. 天井スラブ枠の取付は適切か	
	7. 天井スラブ枠下部の構造用合板の貼付は適切か ：釘ピッチ（ ）mm、釘の種類（ ）	
	8. 壁内側の構造用合板の貼付は適切か ：釘ピッチ（ ）mm、釘の種類（ ）	
	9. 既存の躯体とは構造的に分離しているか	
	10. 計画検査からの変更事項に適切に対応しているか ：主要な変更点（ ）	
完了検査	1. シェルターに関するすべての工事が適切に完了しているか	
	2. 中間検査時の未確認事項は適切か	
	3. シェルターと周辺との納まりは適切か	